

P-LAP III とは・・・



「ピーラップⅢ」は車体に取り付けたピーラップ本体が、サーキットのコントロールラインに埋められたマグネットバーの磁気を感じて、自動的にラップタイムが計測できるパーソナルタイミングシステムです。この為、計測に必要な専任のオペレーターが不要となり、250LAPまでメモリー可能で、区間毎のタイムを計測したり、走行後各ラップタイムを呼び出すことができます。

通常の使用方法

1

走行を開始する場合は、ON/OFFボタンを押して電源を入れてください。

2

S/Sボタンを押して、ピットアウトしてください。

3

コントロールラインを通過すると、センサーが磁気を感じし、6回パイロットランプが点滅し計測が開始されます。

4

2周目、コントロールラインを通過するとラップタイムとラップ数を表示します。

5

11周目でピットインした場合、コントロールラインを通過しない限り、前のラップタイムを表示します。しかし、ストップウォッチは進行し続けています。

6

ピットイン中に、S/Sボタンを押し“STOP”を表示した後、さらにS/Sボタンを3秒間押し続けることで、前のラップまでの合計タイムを確認することができます。

7

ピットイン中や、走行を中断した時点で各ラップタイムを照会する場合は、S/Sボタンを押し“STOP”を表示させた後、MCボタンを押すことで各ラップタイムを呼び出すことができます。

8

各ラップタイムを照会した後、蓄積データを捨てる場合は、クリア操作を行なってください。MCボタンを押しながらS/Sを3秒以上押し続けることで、クリア操作となります。

9

再度走行を開始する時は、S/Sボタンを押してピットアウトしてください。ただしデータをクリア処理していない場合の、再スタート時のディスプレイ表示には、メモリーされたラップ数が表示されます。

10

走行を終了する場合は、ON/OFFボタンを2秒以上押し電源を切ってください。また、電源を切り忘れた場合でも30分以上経過すると自動的にOFFになります。

※P-LAPⅢは、サーキット等に磁石がうめられていることが前提です。また、サーキットによっては、電磁石を使用しているため、電源が入っているかどうかを確認してください。

※ラップ数は250回までメモリーされますが、それ以上の場合、データがクリアされてしまいますので、お気をつけ下さい。